

公益社団法人 東京生薬協会

令和 4 年度

(2022 年 4 月 1 日~2023 年 3 月 31 日)

事業報告書

# I 令和4年度 事業報告

## ■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その1）

生薬、薬用植物に関する知識や情報の啓発により、国民の健康増進に寄与する事業を実施した。

### 1) 薬草観察会 (学術委員会)

#### ① 春の薬草観察会

- ・開催日：令和4年5月15日（日）10:00～15:00
- ・場 所：東吾野（埼玉県飯能市）
- ・講 師：和田 浩志、磯田 進、南雲 清二、福田 達男(敬称略)
- ・参加者：48名

#### ② 秋の薬草観察会

- ・開催日：令和4年10月29日（土）10:00～15:00
- ・場 所：小石川植物園(東京都)
- ・講 師：和田 浩志、磯田 進、南雲 清二、福田 達男(敬称略)
- ・参加者：66名

### 2) 薬草収穫感謝の会 (総務委員会)

- ・共 催：東京都、(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、(公社)東京都薬剤師会、本町生薬会
- ・開催日：令和4年11月5日（土）10:00～13:00
- ・場 所：東京都薬用植物園 集会場（林地）
- ・講 師：伊藤 美千穂先生（国立医薬品食品衛生研究所生薬部 部長）
- ・演 題：においはクスリになりますか
- ・参加者：320名受講(対前年比139%)
- ・入園者：1,050名(対前年比94%)
- ・記念品配布者数：350名、(花の苗350鉢、お土産袋350袋)

### 3) 第36回 生薬に関する懇談会の開催 (学術委員会)

市場に流通する主要生薬について、基原植物、栽培、流通、品質、薬理、臨床などの多面的な視点から研究報告や意見交換を行う場として、産学協同で開催

- ・共 催：日本生薬学会関東支部、(公社)東京生薬協会
- ・開催日：令和4年11月20日（日）12:55～18:15
- ・会 場：北里大学薬学部
- ・テーマ：茯苓（ブクリョウ）
- ・参加者：123名

### 4) 薬用植物・生薬に関する講座 (学術委員会)

会員及び国民を対象に、薬用植物や生薬に対する基本的知識を提供することにより、薬用植物・生薬、薬用植物園などに幅広く興味をもっていただけるよう開催

- ・開催日：令和4年8月～令和4年12月の日曜日（5回シリーズ）
- ・参加費：1回2,500円

開催日	12:30～14:00	14:15～15:45	参加者数
【第1回】 8月21日（日）	生薬のチカラは漢方のチカラ Ⅲ 昭和大学薬学部 教授 川添 和義先生	女性の漢方Ⅱ ヨシコクリニック 院長 高木 嘉子先生	64
【第2回】 9月25日（日）	不老不死の思想と東洋医学 北里大学薬学部生薬学教室 教授 小林 義典先生	認知症と抑肝散 青山杵渕クリニック 院長 杵渕 彰先生	59
【第3回】 10月23日（日）	ドーピングと生薬 日本大学薬学部スポーツファーマシスト 矢作 忠弘先生	COVID-19における漢方医学の役割 北里大学東洋医学総合研究所 所長 小田口 浩先生	68
【第4回】 11月27日（日）	子供の養生と漢方 聖マリアンナ医科大学 客員教授 崎山 武志先生	生薬の基礎から薬膳まで 城西大学薬学部 元教授 白瀧 義明先生	55
【第5回】 12月18日（日）	元気の話 脳腸関連など 東邦大学薬学部 名誉教授 小池 一男先生	漢方～心身一如の医学～ 東海大学医学部 教授 新井 信先生	60

#### 5) 第15回 OTC医薬品とセルフメディケーションの啓発活動

（事務局）

- ・主催：（公社）東京生薬協会、（公社）東京薬事協会、  
日本OTC医薬品協会、日本家庭薬協会  
（公社）東京都医薬品登録販売者協会
- ・後援：厚生労働省、東京都、千代田区
- ・開催日：令和4年10月7日（金）～8日（土）
- ・形式：神田明神・文化交流館+YouTubu 同時生配信
- ・出展社：29社
- ・内容：出展企業プレゼンテーション（13社）
- ・スペシャルインタビュー：久保田 洋子教授（千葉科学大学）  
坂口 眞弓監事（公益社団法人東京生薬協会）
- ・特別基調対談：桂宮治様と藤井実行委員長

#### 6) 会報の発行（7月、1月）

（広報委員会）

- ・生薬や薬用植物に関する最新情報や薬用植物園に関する情報を提供し、また協会の活動状況をお知らせするために年2回発行し、会員及び大学、関係団体等へ配布した。
- ・発行部数：450部

## 7) 協会ホームページの更新

(広報委員会)

- HP リニューアル 3 年目を迎え、新 HP も定着した感がある。引続き「季節の花」「イベント情報」等、各コンテンツの継続的な更新と充実に努めた。令和 4 年度は植物園の臨時休園も無く、ほぼすべてのイベントと講座を年間予定どおり実施できたことも奏功し、年度通期のページビュー数（以下 PV 数と略）は、対前年度比 150%超の高率の伸びを示した。
- システム管理上の特記事項としては、米グーグル社のアクセス数集計システムの新版への移行期限が迫ったため、切替オペレーションを 2023 年 2 月に実施したことが挙げられる。新版では集計可能な指標が変化したため、今後は、新旧通算が可能な PV 数のみを、アクセス数の指標として使用することとする。4Q の PV 数は新旧の合計値である。

• 表 1：ホームページへのアクセス状況

期 間	ページビュー数
1Q：2022/04/01～2022/06/30	168,567
2Q：2022/07/01～2022/09/30	146,169
3Q：2022/10/01～2022/12/31	167,586
4Q：2023/01/01～2023/03/31	131,709
2022（令和 4）年度 通期合計	614,031
前年度 1Q	111,772
前年度 2Q	102,737
前年度 3Q	112,473
前年度 4Q	74,954
2021（令和 3）年度 通期合計	401,936
対前年度比	152.8%

アクセスの多かったコンテンツ上位 5 項目を「表 2」に示す。

なお、グーグル社旧版のコンテンツ別データの保存に不具合を生じたため、「表 2」に限り、切替後の新版で集計した 2023 年 3 月の月間 PV 数を用いている。

\*印を付した「新常用和漢薬集：個別生薬」および「季節の花」の内訳は、グーグル社とは別途に、独自の計数システムで継続的にモニタリングしている。これら上位各 10 位を「表 3」「表 4」に示す。

• 表 2：令和 5 年 3 月 アクセスの多かったコンテンツ

コンテンツ	ページビュー数
新常用和漢薬集：個別生薬合計*	18,667
季節の花：すべての合計*	10,949
最新イベント	3,459
新常用和漢薬集：目次	2,225
トップページ	1,800

・表 3：令和 4 年度通期「新常用和漢薬集」掲載生薬のアクセス TOP10

生薬名	ページビュー数
カンゾウ	12,623
ブクリョウ	11,251
オウバク	9,474
ケツメイシ	9,037
ダイオウ	9,024
オウレン	8,296
マオウ	8,165
バクモンドウ	8,148
ケイヒ	7,901
センブリ	7,791

・表 4：令和 4 年度通期「季節の花」掲載植物のアクセス TOP10

植物名	ページビュー数
クソニンジン	4,431
シモバシラ	2,944
オタネニンジン	2,837
カンレンボク	2,706
オナモミ	2,608
ロウバイ	2,578
ミシマサイコ	2,427
カノコソウ	2,391
フデリンドウ	2,370
サンシュユ	2,201

## 8) ふれあいガーデン事業

(事業管理委員会)

東京都薬用植物園ふれあいガーデンの実施

- ・令和 4 年度は、薬用植物園のサービス向上を目的として、「東京都薬用植物園ふれあいガーデン共同事業体」(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、北部緑地(株)の 3 者共同事業体にて、園内 400 m<sup>2</sup>を対象に薬用植物に関連した事業。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	参加者数
4月	23日(土)	コケ玉づくり 新緑編	吉澤 政夫	10
5月	25日(土)	ハーブソルト	浅井 昭子	18
7月	2日(土)	押し花を楽しむ	半谷京子	20

9月	10日(土)	秋のリース	田淵清美	20
	24日(土)	【群れ】で楽しむ薬用植物	出澤清明	15
10月	1日(土)	季節の植物で染める草木染	山浩美	19
	8日(土)	ハーブロープ	浅井 昭子	20
	22日(土)	アレンジレッスン 秋冬	田淵清美	20
11月	12日(土)	ハーブ王子 2022	山下智道	43
12月	10日(土)	落語に見る食の風景 その 6	一升亭吞介	32
	17日(土)	植物と野鳥	吉澤政夫	40
3月	3日(金)	健康講座	東京薬事協会	46

## 9) 新常用和漢薬集の改訂

(学術委員会)

ホームページ上の新常用和漢薬集に掲載されている生薬を日本薬局方(18局)と照合する改訂作業を実施中。公開品目数は、143 生薬。

## ■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動(その2)

### 【東京都薬用植物園受託事業】

(事業管理委員会)

東京都薬用植物園の管理事業の全面委託に伴い、今までの実績を生かして薬用植物や生薬に対する知識・情報を国民に対し正しく普及し啓発する活動を積極的に実施した。

#### 1) 東京都薬用植物園の事業管理

(1) 東京都薬用植物園の総合案内を行った。

窓口対応：開園時間帯における来園者対応 : 936 件

電話対応：開園時間帯における電話等照会対応：1,035 件

園内管理：土、日、祝日対応：115 日

年間来園者数：102,731 人(対前年比 213.2%)

(2) 栽培補助業務(標本栽培区、温室、育苗その他)：延べ 1,891 人/年

(3) 調査研究、鑑定、鑑別補助作業(ケシ、アサ、サボテン類、違法ドラッグ、トウゴマ等農作業補助、データ整理、文献調査、計測等の補助業務)：

延べ 357 人/年

(4) 普及啓発事業(詳細は各項)：14 日間実施、参加者数：1,511 名

協会の応援人数延べ：61 人

(5) 印刷物等作成

植物園案内パンフレット 0 部

写真で見る絶滅危惧種植物 5,000 部

「四季の薬草」パンフレット 0 部

ケシ鑑別マニュアル 0 部

種子交換リスト 70 部

講習会等の参加者用資料、掲示用ポスター類	1,686部
野外展示用ラベル及び立て札	280枚
ケシ講座他	2,000部
アサ（大麻草）鑑別マニュアル	0部

(6) 東京都薬用植物園建物・施設の管理

保守点検：冷暖房、防火設備、ボイラー、電気設備、給水タンク、温室等

栽培管理：沿道植栽樹木、病虫害駆除、通路の草刈等

清掃：薬事資料館、研修室、標本室、トイレ、廃棄物の処理等

警備：薬事資料館、研修室、収納舎、ケシ・アサ栽培区等

2) 普及啓発・研修業務

(1) 薬草教室の開催（会場：東京都薬用植物園）

	開催日	講演内容	講師(敬称略) (所属)	参加者数
1回	4月20日(水)	病は気から-多様な意味で-	御影 雅幸(東京農業大学 教授)	48
2回	5月19日(木)	漢方薬を効かせるための一工夫	新井 信(東海大学医学部 教授)	50
3回	6月9日(木)	狭山茶の歴史と自然	小田部 家秀(入間市博物館 学芸員)	44
4回	7月15日(金)	「東亜-北米型」の分布を示す植物	門田 裕一(国立科学博物館 名誉研究員)	49
5回	9月16日(金)	知ってますか、江戸東京野菜	福島 秀史(株式会社小城プロデュース)	44
6回	10月20日(木)	楽しみ方はいろいろ植物観察	加藤 祐一(日本植物友の会参与)	51
7回	11月17日(木)	呼吸器疾患の漢方治療	大野 修嗣(大野クリニック 院長)	中止
8回	12月13日(火)	武蔵野の開発と雑木林	福嶋 司(東京農工大学名誉教授)	46

(2) 薬草観察会の開催

① 春の薬草観察会

- ・開催日：令和4年5月15日(日) 10:00~15:00
- ・場 所：東吾野(埼玉県飯能市)
- ・参加者：48名

② 秋の薬草観察会

- ・開催日：令和4年10月29日(土) 10:00~15:00
- ・場 所：小石川植物園(東京都)
- ・参加者：66名

(3) 薬草の普及啓発講座

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	協会	草屋舎	参加人数
4月	23日(土)	野草薬草のコケ玉・夏	吉澤 政夫		○	10
5月	1日(日)~15日(日)	ケシのパネル展	展示	○		-
	5日(木)・6日(金)	ケシのミニ講座	薬用植物園職員	○		161

	25日(土)	ハーブソルト	浅井 昭子		○	18
7月	2日(土)	押し花を楽しむ	半谷 京子		○	20
	27日(水)	夏休み親子植物教室	中山 麗子		○	9
8月	28日(日)	薬草クイズラリー	東京生薬協会	○		39
9月	10日(土)	秋のリース	田淵 清美		○	20
	24日(土)	【群れ】で楽しむ薬用植物園	出澤 清明		○	15
10月	1日(土)	アレンジレッスン秋冬	山 浩美		○	19
	8日(土)	ハーブローブ	浅井 昭子		○	20
	22日(土)	アレンジレッスン 秋冬	田淵 清美	○		20
11月	12日(土)	ハーブ王子 2022	山下 智道		○	43
12月	3日(土)	まちの植物、冬はどうしてる？	鈴木 純		○	47
	8日(木)	木の実・草の実リース作り教室	中山 麗子		○	40
	10日(土)	落語に見る食の風景 その6	一升亭吞介		○	32
	17日(土)	植物と野鳥	吉澤政夫		○	40
3月		健康講座	東京薬事協会と共催	○		46

#### (4) 研修業務の実施

東京都が主催する薬事監視員、警察、薬学生、医学生対象の研修会を補助した。

	対 象	開催回数	対象者数
①	ケシ特別講座	11回	884名
②	薬務、保健所等研修	4回	10名
③	警察、薬防協等研修	23回	448名
④	学生研修	3回	17名
⑤	日本薬剤師研修センター漢方認定研修	3回	38名
⑥	一般(団体)指導	4回	126名

### 3) 薬用植物の栽培

① 薬事監視業務の一環とし、ケシ、大麻の栽培補助、農作業補助を行った。

② ケシ、大麻以外の薬用植物の栽培管理、農作業全般を行った。

場 所：東京都薬用植物園

期 間：通年

### 4) 薬用植物の収集、保存及び展示

東京都職員の指示により行った。

① 種子交換：種子調整・整理、交換リスト作成、種子の受付発送を行った。

② さく葉作成：種の同定、さく葉の作成、リスト作成、保管整理を行った。

③ 生薬標本の作成：種の同定、標本作成、リスト作成、保管整理を行った。

④ 資料館に薬用植物の標本類の展示及びラベルの整備を行った。



## 5) 鑑定、鑑別補助

東京都職員が行う植物鑑定、鑑別試験のために必要な、文献調査、資料の提供及び鑑別用標本の購入保管を行った。

## ■ 2号事業 生薬、薬用植物等の栽培、育成等に関わる活動

### 1) 薬用植物栽培技術研修会の開催

(薬用植物国内栽培事業委員会)

#### ①秋田県八峰町（八峰町役場、八峰町うきうき農園、協力農家ほ場）

開催日：令和4年10月13日（木）

内 容：キキョウマルチ栽培における追肥の回数・方法・肥料設計について（飯田指導員）、マルチ種別による比較、育苗条件検討、直直播栽培の可能性について検討。自動化・最適化の調製工程、手作業工程「分解・選別・鬚根除去」、スムーズな機械剥皮を図るため周皮の一部に切れ目をいれる筋剥きの自動化「自動筋剥き機」の試作機の実演。

参加者：16名

#### ②大分県杵築市（杵築市活性化センター会議室、山香試験圃場、農業文化公園他）

開催日：令和4年11月8日（火）

内 容：キキョウの栽培指針について（和田指導員）

- ・キキョウの特徴や効能について
- ・栽培のポイント
- ・根の形状や品質等の優良品種の系統選抜について

キキョウマルチ栽培における施肥法（飯田指導員）

- ・4試験区を設けて、その効果を検証する

①基肥（即効性肥料 NPK 各 5 kg/10a

＋緩効性肥料 NPK 各 5 kg/10a）

② ①＋寒肥追肥（緩効性肥料 NPK 各 5 kg/10a）

①＋②＋2年目春追肥（基肥同量）

①＋2年目春追肥（基肥同量）

- ・速効性肥料例：化成（14－14－14）化成（8－8－8）など

- ・緩効性肥料例：IB化成（10－10－10）ロング肥料各種 など

薬用植物の栽培について（松成グループ長）

- ・植物の生育条件について
- ・植物の栽培特性を知る
- ・経済性を重視する
- ・ハイブリット利用のススメ

参加者：24名

## ■ 3号事業 生薬資源等の基原・品質・薬理等の調査研究に関わる活動

### 1) 日本薬局方原案検討委員会に係る活動

(学術委員会)

- ① 生薬等(A)委員会：6月、9月、11月、3月に開催、小栗・神本氏（ツムラ）が参加。  
生薬等(B)委員会：4月、7月、10月、1月に開催、松浦氏（ツムラ）が参加。  
各委員会の議事メモが学術委員会に報告され、試験法案の追試等の対応がなされた。
- ② 第十八改正日本薬局方第一追補（2022年12月12日公示）  
改正案の主な意見公募は下記のとおり  
[参考情報]
  - ・ モクツウ【基原】[各条]
  - ・ 柴胡桂枝乾姜湯エキス、抑肝散加陳皮半夏エキス【新規収載】
  - ・ ショウズク、ニクズク【日本名別名】
  - ・ コウボク、チョウジ、チョウジ油、ハマボウフウ、ボウイ、モクツウ【基原】
  - ・ ゴシツ、サンシシ、センナ（末）、ニガキ（末）、ヤクチ【確認試験】
  - ・ ショウマ【純度試験】
  - ・ カンキョウ、キョウニン、桂枝茯苓丸エキス、牛車腎気丸エキス、呉茱萸湯エキス、真武湯エキス、桃核承気湯エキス、トウニン（末）、八味地黄丸エキス、半夏厚朴湯エキス、無コウイ大建中湯エキス、麻黄湯エキス、ウワウルシ、エンゴサク（末）、サンシュユ、ショウキョウ（末）、チョウトウコウ【定量試験】
  - ・ インチンコウ、ウコン、ウワウルシ、ガイヨウ、ゴボウシ、シャカンソウ、シャゼンソウ、センナ、ヤクモソウ【生薬の性状】
  - ・ ジャショウシ【ラテン名】
  - ・ 定量用アミグダリン、定量用アルブチン、ジフェニルスルホン、薄層クロマトグラフィー用シャゼンシ、定量用ギンゲロール、定量用ショーガオール、定量用ロガニン、定量用リンコフィリン、定量用ヒルスチン、定量用及び薄層クロマトグラフィー用デヒドロコリダリン硝化物【試薬・試液】
- ③ 第十八改正日本薬局方第二追補（予定：2024年6月）  
改正案の主な意見公募は下記のとおり  
[参考情報]
  - ・ 日本薬局方収載生薬の学名表記について
  - ・ 生薬及び生薬製剤の薄層クロマトグラフィー[各条]
  - ・ 辛夷清肺湯エキス【新規収載】
  - ・ 抑肝散加陳皮半夏エキス【基原】
  - ・ アマチャ、インチンコウ、インヨウカク、ウヤク、ウワウルシ、ガイヨウ、カッコウ、キクカ、カッコン、シンギ、センナ、ソヨウ、タンジン、ニンドウ、

ハッカ、ビワヨウ、ブシ、ボクソク、モクツウ、ヤクモソウ、レンニク【生薬の性状】

- ベラドンナエキス、ホミカエキス、ホミカエキス散、ホミカチンキ、ロートエキス、ロートエキス・アネスタミン散、ロートエキス・カーボン散、複方ロートエキス・ジアスターゼ散【性状】
- 鏡検【生薬試験法】
- ゲンチアナ(末)、ダイオウ(末)、バクモンドウ、ヨクイニン(末)【確認試験】
- 牛車腎気丸エキス、真武湯エキス、チョウトウコウ、当帰芍薬散エキス、八味地黄丸エキス、防己黄耆湯エキス、抑肝散加陳皮半夏エキス、ローヤルゼリー【定量試験】
- アトラクチレノリドⅢ、アトラクチロジン、アトラクチロジン試液、14-アニソイルアコニン塩酸塩、安息香酸、シノメニン、10-ヒドロキシ-2-(*E*-デセン酸、(*E*-フェルラ酸、ブシモノエステルアルカロイド混合標準試液、ベンゾイルヒパコニン塩酸塩、メチルオフィオポゴナノンA【試薬・試液】

#### ④ 日本薬局方外生薬規格 2025WG

協会からの改正要望を集計し、集計結果を国立医薬品食品衛生研究所(以下、衛研)の政田室長宛てに提出した。「WG」には協会から神本氏(ツムラ)が参加(2022年8月、11月、2023年2月)。

#### ⑤ 漢方処方の原案作成WG

抑肝散加陳皮半夏エキス(全5社)、辛夷清肺湯エキス(全6社)、麻子仁丸エキス(全6社)の規格及び試験方法の検討結果をWGで報告。

当協会として、JP17 第二追補以降の収載候補品目の全てについて審議に参加 嶋田氏(常磐植物化学研究所)、神本氏(ツムラ)が参加:4回(2022年5月、8月、11月、2023年2月)

## 2) 薬用植物栽培連携協定更新

(事務局)

- ① 美郷町、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長
- ② 杵築市、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長
- ③ 新潟市、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長
- ④ 新発田市、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長

## 3) 生薬栽培地視察と情報収集活動の実施

(事務局)

美郷町にて薬用動植物栽培地の視察と記念植樹

- 日程:令和4年10月2日(日)
- 見学地:記念植樹(ホオノキ植樹)、薬用植物栽培地見学
- 交流会:薬用植物等の栽培地等の意見交換
- 参加者:12名

#### 4) 薬用動植物国内栽培の実施

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 秋田県八峰町薬用植物試験栽培  
試作品目：ウイキョウ、カミツレ、キキョウ、シャクヤク、セネガ、トウキ
- ② 秋田県美郷町薬用植物試験栽培  
試作品目：カンゾウ、キキョウ、ノイバラ、ボウフウ、ホオノキ、センブリ  
津蟹（チュウゴクモクスガニ）
- ③ 新潟県新発田市薬用植物試験栽培  
試作品目：ヤマトトウキ、ハッカ、シャクヤク、カンゾウ、オケラ、クロモジ
- ④ 新潟県新潟市薬用植物試験栽培  
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、エビスグサ、カラスビシャク、ハッカ、シャクヤク、オケラ、カンゾウ、オタネニンジン、シソ、カワラヨモギ、アミガサユリ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ、オウレン、ハマボウフウ、コガネバナ、ヨロイグサ、ゴミシ
- ⑤ 福井県高浜町薬用植物試験栽培  
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、エビスグサ、シャクヤク、オケラ、ハマボウフウ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ、オウレン、ゴシュユ、コウホネ、カノコソウ、センブリ、ムラサキ
- ⑥ 岐阜県岐阜市薬用植物試験栽培  
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、シャクヤク、オケラ、カワラヨモギ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ
- ⑦ 大分県杵築市薬用植物試験栽培  
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、シャクヤク、カラスビシャク、ホソバオケラ、コガネバナ、カワラヨモギ、ジャノヒゲ、カンゾウ、キキョウ、カノコソウ、ハナスゲ、ベニバナ、サフラン、ムラサキ、キバナオウギ、メハジキ

#### 5) 薬用作物等地域特産作物体制強化促進・全国的な支援体制の整備事業(国庫補助事業)

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 第1回キキョウに関する情報交換検討会
  - ・開催日：令和4年4月27日(水)・28日(木)
  - ・場 所：八峰町峰浜地区文化交流センター「峰栄館」2階大会議室  
八峰町うきうき農園
  - ・参加者：27名
  - ・全国4自治体の担当者・技術アドバイザー・農水省が参加し、薬用動植物の国産化率向上を目指し、薬用作物の地域特産作物の生産性の向上や高品質化を図るため機械の改良(皮むき機洗浄機、半自動乗用移植機)と栽培技術の指導及び需要拡大を図った。

② 第2回キキョウに関する情報交換検討会

- ・開催日：令和5年2月2日(木)・3日(金)
- ・場 所：大分県杵築市役所山香庁舎 3階ホール  
深耕ロータリー作業
- ・参加者：50名
- ・全国4自治体の担当者・技術アドバイザー・農水省が参加し、技術拠点農場の実施結果、事業の評価、事業推進上の課題・対応策等を検討した。

6) 津蟹(チュウゴクモクスガニ) 学術研究飼養 (事務局)

第5回稚ガニ放流式典

- ・開催日：令和4年12月4日(日)
- ・場 所：秋田県美郷町千屋字雷電川原 276-1
- ・挨拶：(公社)東京生薬協会 会長 藤井 隆太
- ・挨拶：秋田県美郷町 町長 松田 知己
- ・養殖池に放流指導：株式会社健興通商 代表取締役 傅 健興
- ・主 催：公益社団法人東京生薬協会、株式会社龍角散

■ 4号事業 生薬、薬用植物等に携わる人材の育成に関わる活動

1) 薬用植物指導員認定者のフォローアップ研修 (学術委員会)

既認定指導員を対象に、より実践的に薬用植物に関する説明や案内ができるよう、さらに協会活動により積極的に協力頂くようフォローアップ研修。

① 薬用植物園研修

- ・開催日：令和4年10月29日(土)
- ・場 所：小石川植物園(東京都)
- ・参加者：66名

■ 5号事業 その他、本会の目的達成に必要と認める事業

■ 共益事業

主に会員向けに行われる事業で、会員の親睦や情報交換を図る目的で実施した。

1) 賀詞交歓会の実施(新年のご挨拶) (事務局)

- ・開催日：令和5年1月30日(月) 16:00~17:00
- ・神田明神・文化交流館+オンラインで実施(zoom)
- ・会 場：神田明神・文化交流館『令和の間』
- ・開会の挨拶：藤井 隆太会長
- ・ご挨拶：武見 敬三様(参議院議員)、自見 はなこ様(参議院議員)  
小池 百合子様(東京都知事)、仙波 徹様(農林水産省農産局地域対策官)  
磯部 総一郎様(OTC協会理事長)、山本 信夫様(日本薬剤師会会長)、  
堀内 満也様(八峰町長)、永松 悟様(杵築市長)、後藤 雄次様(東京都医薬品登録販売者協会会長)

- ・閉会の挨拶：金原 徳典最高顧問
- ・参加者：55名
- ・オンラインアクセス数：28団体

## 2) 薬用植物生け花展・標本展の実施

(事務局)

「薬と健康の週間」(東京都)行事の一環として、主催の薬祖神奉賛会に協力。

- ・開催日：令和4年10月18日(火)
- ・神事に加えて3年ぶりに三段提灯と参拝が実施された。

通常例年例大祭時に行っているいけばな展・標本展、子供囃子、直会、福引およびお汁粉の各祭事は中止した。

## 3) MCMIA(現代化中医薬国際協会)との交流

(事務局)

- ・令和4年8月に香港で開催された展示会 ICMCM で東京都薬用植物園、薬用植物国内栽培事業のポスターを掲示し、先方幹部との情報交換を行った。
- ・訪問先：ICMCM 展示会場、衛生局訪問

## II. 総会、理事会、委員会等開催

総会	2回	6月	12月				
理事会	4回	6月	6月	11月	3月		
会計、業務監査	1回	5月					
総務委員会	2回	5月	3月				
総務規程WG	3回	4月	5月	12月			
学術委員会	6回	4月	5月	8月	10月	12月	2月
広報委員会	4回	5月	8月	11月	2月		
事業管理委員会	4回	5月	8月	11月	2月		
薬用植物国内栽培事業委員会	2回	10月	2月				
創立70周年記念事業準備委員会	1回	3月					

## III. 会員数及び入退会

1. 会 員：138名
2. 期首会員数：135名
3. 期末会員数：138名
4. 入会(12件)
  - 法人正会員：2名
  - 個人正会員：8名
  - サポーター：2名
5. 退会(9件)
  - 法人正会員：0名
  - 個人正会員：4名
  - サポーター：5名

以 上